

＊ 自然環境 ＊			
面積			
総面積	R5. 10. 1	282. 93 km ²	
可住地面積	R3. 10. 1	7, 497ha	
林野面積	R2. 2. 1	20, 234ha	
田畑面積	R4. 7. 15	3, 550ha	
民有地評価総面積	R4. 1. 1	9, 632ha	
気象			
平均気温	2024 年	17. 6℃	
最高気温		38. 5℃ (8 月 4 日)	
最低気温		-4. 8℃ (1 月 29 日)	
降水量 (年間)		3, 452. 0mm	
日照時間 (年間)		2, 001. 6 時間	

※ 1 境界未定のため推計面積

＊ 人 口 ＊			
総人口 [※]	R5. 10. 1	16, 423 人	
男		7, 746 人	
女		8, 677 人	
年少人口 (0 歳～14 歳)		1, 669 人 (10. 16%)	
生産年齢人口 (15 歳～64 歳)		7, 489 人 (45. 60%)	
老年人口 (65 歳以上)	R4. 10. 1 ～ R5. 9. 30	7, 265 人 (44. 24%)	
世帯数		7, 783 世帯	
1 世帯当たり人員		2. 11 人	
自然動態		-359 人	
出生数		59 人	
死亡数	R5. 10. 1	418 人	
社会動態		-149 人	
転入		801 人	
転出		950 人	
人口密度 (総面積 1k m ² あたり)		58. 05 人	
人口密度 (可住地面積 1ha あたり)	R3 年	2. 19 人	
婚姻率 (人口千対)		3. 0	
離婚率 (人口千対)		1. 7	

※ 2 総人口は年齢不詳を含む

＊ 市財政 ＊ (R5 年度決算)			
歳入総額	14, 315, 795 千円		
地方税	2, 056, 576 千円	14. 4%	
地方交付税	4, 637, 547 千円	32. 4%	
国庫支出金	2, 245, 929 千円	15. 7%	
県支出金	1, 173, 916 千円	8. 2%	
地方債	491, 025 千円	3. 5%	
その他	3, 710, 802 千円	25. 9%	
歳出総額	13, 943, 295 千円		
人件費	2, 367, 892 千円	17. 0%	
扶助費	2, 654, 303 千円	19. 0%	
公債費	949, 495 千円	6. 8%	
物件費	1, 896, 122 千円	13. 6%	
維持補修費	309, 459 千円	2. 2%	
補助費等	1, 638, 102 千円	11. 7%	
積立金	1, 223, 721 千円	8. 8%	
投資・出資金・貸付金	242, 311 千円	1. 7%	
繰出金	1, 359, 549 千円	9. 8%	
投資的経費	1, 302, 341 千円	9. 3%	
財政力指数	0. 351		
経常収支比率	96. 5%		
実質公債費比率	4. 2%		

＊ 所 得 ＊			
市民総生産 [※]	R3 年度	59, 841 百万円	
市民所得 [※]		42, 097 百万円	
1 人当たり市民所得 [※]		2, 449 千円	

※ 4 市内でその一年間に生産された価値の総額
※ 5 市内に居住しているもの（法人等含む）に分配される所得
※ 6 ※ 5 を 10 月 1 日現在の推計人口で除したもの（個人の所得水準を表すものではなく企業の利潤を含んだ市の経済全体の所得水準を表すもの）

＊ 生活環境 ＊			
市内住宅総戸数	H30. 10. 1	8, 770 戸	
持ち家		7, 180 戸	
借家		1, 320 戸	
持ち家比率		81. 9%	
公営住宅戸数	R6. 3. 31	576 戸	
京町定住促進住宅戸数	R6. 4. 1	80 戸	
し尿処理量	R3 年度	17, 993kl	
ごみ処理量	R3 年度	6, 242 トン	
上水道等普及率	R4. 3. 31	96. 8%	
道路実延長 (国・県道)	R4. 4. 1	103. 6km	
道路改良率 (国・県道)		83. 0%	
道路実延長 (市道)		622. 8km	
道路改良率 (市道)		67. 0%	
保有自動車数	R5. 3. 31	7, 958 台	
郵便局数	R4. 3. 31	12 局	
電話加入数	R5. 3. 31	3, 834 加入	

＊ 福 祉 ＊			
高齢者クラブ数	R6. 4. 1	44 クラブ	
高齢者クラブ会員数 (総数)		1, 506 人	
高齢者クラブ会員数 (男)		625 人	
高齢者クラブ会員数 (女)		881 人	
養護及び軽費老人ホーム数	R6. 4. 1	2 施設	
養護及び軽費老人ホーム定員		80 人	
介護老人福祉施設数		3 施設	
介護老人福祉施設定員		210 人	
介護老人保健施設数		1 施設	
介護老人保健施設定員	R4 年度	80 人	
生活保護被保護世帯数		192 世帯	
生活保護被保護実人数		1 か月 225 人	
生活保護被保護実人数 (人口千人当たり)		12. 32 人	
国民年金被保険者数	R5. 3. 31	2, 024 人	

＊ 観 光 ＊			
主な観光地における観光客入込数	／ うち県外客数		
えびの高原	R6	894 千人/ 626 千人	
京町温泉		195 千人/ 58 千人	
白鳥温泉		56 千人/ 31 千人	
八幡丘公園		0 千人/ 0 千人	
矢岳高原		28 千人/ 8 千人	
グリーンパークえびの		60 千人/ 31 千人	
道の駅えびの		697 千人/ 418 千人	
京町温泉駅観光交流センター		8 千人/ 5 千人	
アウトドアステーション		11 千人/ 7 千人	
計		1, 948 千人/ 1, 184 千人	
公園数	R5. 10. 1	1 カ所	
国立・国定公園		1 カ所	
県立自然公園		1 カ所	
市立公園		2 カ所	

＊ みどころ ＊
えびの高原 日本で初めて国立公園に指定された「霧島錦江湾国立公園」内にあり、四季折々様々な表情を見せる高原特有の雰囲気を楽しめる。春のミヤマキリシマ、夏のキャンプ、秋の紅葉、冬の樹氷、人工スケートリンクが自慢。トレッキングスポットとして池めぐりや韓国岳登山も人気がある。

道の駅えびの 平成 25 年 4 月にオープン。えびのインターのすぐ近くに位置し、地どれの生鮮野菜、えびの自慢のヒノヒカリ、宮崎牛などが並ぶ直売コーナーや旬の食材を生かしたバイキングレストラン、完熟さんかんを利用した「さんかんソフトクリーム」が魅力の軽食コーナーがある。

狗留孫峽 (くるそんきょう) 川内川の最上流に位置し、延長 10 km にも及ぶ渓谷美は絶景。

＊ 教育・文化 ＊			
教育			
保育所	R6. 4. 1		4 所
幼保連携型認定こども園	R6. 5. 1		5 園
幼稚園数			1 園
小学校数			5 校
小学校児童数			746 人
中学校数			4 校
中学校生徒数			433 人
中学校卒業者進学率			100%
高等学校数			2 校
公立図書館数	R5. 4. 1		1 館
図書館蔵書数			130, 441 冊
スポーツ施設			
公園数	R6. 4. 1		6 施設
体育館数(学校体育館 9 施設含)			14 施設
武道場			2 施設
文化財			
国登録有形文化財	R6. 4. 1		10 件
国指定天然記念物			3 件
国指定重要文化財			1 件
県指定文化財			8 件
市指定文化財			26 件

＊ 衛 生 ＊			
病院数	R4. 10. 1	21 所	
病院病床数		196 床	
歯科診療所数		10 所	
医師数	R2. 12. 31	29 人	
歯科医師数		14 人	
看護師、准看護師数		238 人	
医薬品販売業、薬局数	R4. 3. 31	18 所	

＊ 安 全 ＊			
出火件数	R4 年	20 件	
火災損害額		114, 876 千円	
交通事故死傷者数		28 人	
刑法犯認知件数		34 件	
刑法犯検挙件数		22 件	

＊ 産業活動 ＊			
産業別就業			
就業者総数 [※]			8, 641 人
第 1 次産業（就業者数）	R2. 10. 1		1, 908 人
第 1 次産業（就業者割合）			22. 08%
第 2 次産業（就業者数）			1, 730 人
第 2 次産業（就業者割合）			20. 02%
第 3 次産業（就業者数）			5, 003 人
第 3 次産業（就業者割合）			57. 90%
労働			
労働力人口	R2. 10. 1		8, 985 人
完全失業率			3. 8%
商業			
事業所数（卸売業、小売業）	R3. 6. 1		191 事業所
従業者数（卸売業、小売業）	R3. 6. 1		922 人
年間商品販売額（卸売業、小売業）	R2. 1. 1～ R2. 12. 31		23, 007 百万円
農業			
総農家数	R2. 2. 1		1, 682 戸
農業従事者数（個人経営体）	R2. 2. 1		2, 479 人
水稻収穫量	R5		5, 940 トン
乳用牛飼養頭数	R2. 2. 1		854 頭
肉用牛飼養頭数			19, 649 頭
豚飼養頭数			44, 280 頭
採卵鶏飼養羽数			164, 000 羽
ブロイラー出荷羽数			5, 627, 000 羽

＊ 市民憲章 ＊ (昭和 48 年 6 月 18 日制定)

・自然を守り緑豊かなまちをつくりましょう
・健康で明るいまちをつくりましょう
・たがいにたすけあい楽しいまちをつくりましょう
・教養を高め文化のまちをつくりましょう
・みんなで栄える住みよいまちをつくりましょう

＊ 市の概況 ＊
島津が伊東に勝利して南九州の覇権を決した木崎原合戦 (1572 年) が「南九州の関ヶ原の戦い」ともいわれるように、昔からえびのは「要」とされてきました。
明治 4 年の廃藩置県で鹿児島県に編入され、以後、都城県、宮崎県、鹿児島県に。そして、明治 16 年に宮崎県に再置され、昭和 41 年 11 月 3 日に飯野、加久藤、真幸の三町が合併し「えびの町」となりました。その後、昭和 45 年 12 月 1 日に市制を施行。昭和 51 年には、九州縦貫自動車道 (宮崎道えびの～高原間) が開通。昭和 56 年、陸上自衛隊えびの駐屯地開設。平成 6 年、米国ベルトン市との姉妹都市締結の調印。平成 7 年、九州縦貫自動車道えびの～人吉間 (22. 3 km) の開通。平成 16 年には九州自動車道人吉～えびの間四車線化拡張工事が完成し、熊本市、鹿児島市、宮崎市へのアクセスが約 1 時間となり、着実に「南九州の交流拠点都市」として発展してきています。
令和 2 年 12 月 1 日には市制施行 50 周年を迎え、農業、子育て支援、産業団地造成と企業誘致など、将来にわたって活力のあるまちづくりを目指していきます。

2024 統計で見るえびのミニガイド

霧島山のめぐみめぐるえびの

山と水、米と肉。温泉と四季のまち。



市章 (昭和 49 年 4 月 11 日制定)

霧島山にたなびく雲の美しさを表現したこの三角形は、飯野、加久藤、真幸三町の合併を意味し、二筋の雲により、全体をひらがなの「え」の字に見えるデザインを採用。そして、三角形は角を少し丸めて他にない独自の形をつくり、限りなく未来へ発展する矢印をイメージしています。

令和 7 年 3 月発行